

「一括の育成・確保」のうち雇用環境への取組の項目に「奨学金返済支援に取組む企業」を追加し、評価点0.25を付与。「技術者の育成・確保」は地域での選択項目に改正し、評価点は現行のままとする。

道建設部は、23年度総合評価格付方式ガイドライン「一括の育成・確保」の取組扱いと「工事表章」の取扱いと「工事施行成績」の評価対象範囲を変更する。

「建設管理部工事優良企業表彰」の取扱いは、前年度の受賞実績をもとに0.25点の付与から、有効期間を過去2年間に延ばし、配点を0.5点に変更。各建管で年1回の適用としている。

道建設部は17日、札幌市内のからる2・7で2022年度第2回総合振興局等副局長(建設管理部担当)等会議を開催した。細谷俊人建築企画監が各副局長に対し「地域・市町村の声に即した迅速に事業に取り組

地域の声に即し迅速な対応を

れ「賃金が上がり、休みが増え、若い人が建設業を選んでくれるよう、さらには一丸で取り組んでいこう」と呼びかけた。

議事に移り、2022年度事業活動経過として建設現場見学会や酸素欠乏特別教育の実施結果を報告。また23年度事業予定については、全体会議を6月22日、9月15日、24年3月15日の計3回開催する予定であることや、賃金・労務管理・安全の各専門部会のスケジュールなどを確認した。

このほか、各専門部会や各地方建設協会の活動状況などを報告した。

道総合都市交通体系調査協議会

充実したプラン策定へ 帯広圏の実態調査結果共有



新年度事業予定など確認 道建協労務研究会が全体会議

北海道建設業協会(若田圭剛会長)労務研究会(福田隆二委員長)は17日、札幌市内の道建設会館で本年度第3回全体会議を開催した。写真1。

北海道建設業協会(若田圭剛会長)労務研究会(福田隆二委員長)は17日、札幌市内の道建設会館で本年度第3回全体会議を開催した。写真1。

道は17日、札幌市内の第二水産ビルで2022年度第2回北海道総合都市交通体系調査協議会(高野伸栄座長)を開催した。写真2。

オンラインでの参加を含め委員16人が参加。帯広圏の実態調査の結果速報を共有するなど、充実した都市交通マスタープランの策定に向けて活発に議論した。

道では、都市における交通体系の在り方を示す都市交通マスタープランを策定。22年度は、07年度に策定された帯広圏のプラン改定に向けた総合都市交通体系調査を実施している。

当日は事務局が、前年度にプランを策定した函館圏の観光交通施策検討結果と合わせて、帯広圏の本体・付帯調査および補充調査結果を報告。サンプル集計では、前回調査時と比べ外出率が約2%減少している状況を示した。

個人意識調査において

は、公共の状況など度について比較では「全くな若干増加を説明し、調査結果は、公共交通種データ析、地区クロス集な傾向分認。23年

未来切り拓く技術者に

札幌工科 第41回卒業式

学校法人常松学園(常松哲理事長)札幌工科専門学校(三上敬司校長)は17日、札幌サンプラザコンサートホールで第41回卒業証書授与式を挙行了。写真1。

技術者の卵75人の門出を祝った。

道内唯一の土木系専門学



校の同校では、測量士、土木施工管理技士など多くの資格を卒業と同時にまたは有利な条件で取得できる。

技術者不足に悩む建設業界に対し、企業が社員を同校に委託生として入学させると、学費の一部を免除する「企業委託制度」も設置

し、積極的な人材育成に尽力している。

本年度の卒業生は、環境土木工学科19人、造園緑地科15人、測量情報科18人、環境土木・造園施工管理科23人の計75人。全卒業生のうち

企業委託生が49人で7割近くを占めた。開発局への就職決定者は7人、道庁は6人となった。

来賓や保護者、企業関係者が見守る中、卒業生代表に三上校長が卒業証書を授与。各種資格の認定証や日本測量協会会長賞などの賞状を贈った。

式辞で三上校長は「学校では単位の取得などいろいろなプレッシャーがあったと思うが、それを乗り越え卒業できたということに忍耐を学んだ。就職が決まったこれからがスタート」と述べるとともに「磨き鉄石(ませんてつけん)の言葉を紹介し、強い意志を持って仕事、勉学などに励んでほしいと期待を寄せた。

続いて来賓祝辞。開発局の谷村昌史建設部長、道建設部の北谷啓幸部長らが登壇。谷村部長は石塚宗司局長のメッセージを代読。「DX(働き方改革等様々な取組を進めており、建設業等が先端技術を取り入れた魅力ある職場になるうとしてい」と述べ、「専門技術を学んだ皆さんへの社会の期待は非常に大きい。北海道の明るい未来を切り拓いてほしい」と激励した。

北谷部長は「何事にも前向きにチャレンジしろいろいろな経験を積み重ねてほしい。仲間を大切に社会を支えていただきたい」とエールを送った。

最後に卒業生を代表し造園緑地科の赤城奏笑さんがあいさつ。「札幌工科専門学校の卒業生としての誇りを持ち、学校で得たものを大切に技術者として社会に貢献できるよう頑張りたい」と決意を述べた。

丸彦渡辺建設(札幌、岡本啓治社長)は、4月1日付で組織変更および役員異動を行う。調達部を新設し、全社の資材および外注調達効率化、原価低減のための工事の予算作成などの業務を統括する。また、事業本部西日本支店を事業本部名古屋支店に統合し、西日本支店を廃止する。

業界短信

調達部を新設 外注効率化等

丸彦渡辺建設(札幌、岡本啓治社長)は、4月1日付で組織変更および役員異動を行う。調達部を新設し、全社の資材および外注調達効率化、原価低減のための工事の予算作成などの業務を統括する。また、事業本部西日本支店を事業本部名古屋支店に統合し、西日本支店を廃止する。

辞令

丸彦渡辺建設 (4月1日付)

- ▽取締役専務執行役員事業本部部長(取締役専務執行役員事業本部部長兼苫小牧支店長) 佐藤靖浩
- ▽取締役専務執行役員事業本部西日本支店所担当部長(芝秀彦)
- ▽取締役専務執行役員事業本部西日本支店所担当部長(芝秀彦)
- ▽執行役員兼部長(兼担当部長) 兼担当部長
- ▽執行役員

管増築の契約手
和リースに決め
・施工一括のデ
ルド(DB)方
知していないと
た上で、「これ
が進む状況で、
ことに大変驚い
との認識を示し
て「工期が2年
る。どのよう
るか見極める必
」と述べた。

「立派な技術者になって」
札幌工科専門学校
75人が卒業証書授与式

学校法人常松学園札幌
工科専門学校第41回卒
業証書授与式が17日、札
幌サンプラザで開かれ



卒業生としての誇りを胸に社会へと進む
長は「ここが
スタート。本
校で学んだア
レクシヤを
乗り越える忍
耐力、培った
知識と技術を
生かして環境
を考慮した国
づくりを」と
式辞を述べ
た。
来賓の石塚
宗司開発局長

増築棟校舎に2024
年3月31日に引き渡し、
賃貸借期間は24年4月1
日から29年3月31日ま
で。期間終了後は解体す
る考えだ。
プロポーザルには同社
のみが参加。2日に選定
委員会を開き、8日に予
定者として決定した。

た。技術の担い手として、
75人が社会への一歩を踏
み出した。
卒業生は2年制の環境
土木工学科19人、造園緑
地科15人、1年制の測量
情報科18人、環境土木・
造園施工管理科23人。2
年制の卒業生は北海道開
発局、道、市役所など官
庁やゼネコンへ進む。1
年制の卒業生は企業が若
手を育てるために入学さ
せたケースが多く、所属
するコンサルや建設会社
に戻り学業成果を生か
す。

ン札幌736、
建産733、マ
設733、丸成
131、マナテ
、晃和住宅7
洋ホーム72
文技建727、
725、三上
4、島崎建具工
沼田工務店7
721、大
18、エヌエ
本間塗装71
業714、三
3、マルト東
1、札幌建具
組合710、天
09、リポート
北海道708、
705、マイ
2、日本防水
4、エーステッ
藤建工業70

札幌市基金に
寄付で感謝状
サッコウ測地
札幌市白石区)は16日、
札幌市のオリンピック・
パリンピック基金へ50
万円を寄付したことに對
し、市から感謝状を受け
たII写真。
創立50周年の記念事
業。市役所で石川敏也副
市長から感謝状を受け取
った平岡浩成社長は「こ
れまで札幌市の道路や河



川の用地測量などを手掛
けてきた。少しでも役に
立てば」と話した。

労務安全書類のデジタル化といえば

データ入力や書

膨大な管理書類をインターネット上で簡単に作成・提出できる!

労務安全書類
施工体制台帳
など

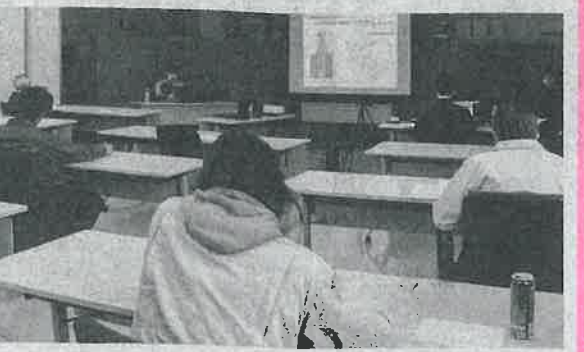
一度データを
入力しておく!

グリーンサイト

MC DATA PLUS <https://www.r>

(谷村昌史建設部長代
表、国土地理院北海道地
方測量部の浦部はくろう
部長、上練三北海道森林
管理局長、北谷啓幸道建
設部長が社会基盤を造
り、支える立派な技術者
になってほしい)の思い
を伝えた。
卒業生を代表して造園
緑地科の赤城泰笑さんが
「学校で得たものを大切
にし、「技術者として社
会に貢献できるように頑
張りたい」と決意を述べ
た。

事故防止へ意識高める 札幌協が労働安全研修開催



事故防止に向け安全管理を学んだ

札幌市管工事業協同組
合(佐藤安幸会長)は17
日、2023年度労働安
全研修を同協組で開い
た。オンラインを合わせ
て約50人が参加。着工期
に向け、水道や通信設備
ガス使用での事故防止に
ついて学んだ。
水道現場の安全管理に
ついて、札幌市水道局の
長平武信技術管理・危機
対策担当課長が講話。同
局発注工事での人身・物
損事故が「近年増加傾向

- ### 建築申請
- #### 札幌市内
- (①設計者②施工者)
- ◆東日本確認分 北 区
 - ◇法人
 - (10月27日)
 - ▽土屋ホーム(北9条西3丁目7)2W96住新、太平5条6丁目4の58①直営②同
 - ◆サッコウケン確認分
 - ◇法人
 - (10月21日)
 - ▽山下ホーム(北1条西17丁目1の47)2W100住新、北34条西10丁目144の33①直営②同
 - (10月24日)
 - ▽東栄ホーム(本町2条3丁目5の39)2W116住新、出田3条5丁目113の29①愛建築設計②直営
 - ◇個人
 - (10月21日)
 - ▽新築似1条2丁目15の5①3W138住新①ロゴスホーム②同
 - (10月25日)
 - ▽出田2条4丁目39の29①地1地上2W部RC377共住新(4戸)①ノースフアインプランニング②同
 - (10月26日)
 - ▽新築似1条6丁目1076の17①2W117住新①一条工務店②同
 - (10月27日)
 - ▽新築似7条10丁目716の44①2W180住新①シンプランニングワークス②オネステビルド
 - (10月28日)
 - ▽出田6条2丁目384の14①2W99住新①ロゴスホーム②同